

案 内

第73回日本公衆衛生学会総会

会 期：2014年11月5日(水)～7日(金)
 学 会 長：武藤 孝司(獨協医科大学公衆衛生学講座 教授)
 メインテーマ：連携と協働：理念から実現に向けて
 会 場：栃木県総合文化センター(栃木県宇都宮市本町1-8)
 宇都宮東武ホテルグランデ(栃木県宇都宮市本町5-12)
 ニューみくら(栃木県宇都宮市昭和1-3-6)
 ホームページ：<http://www.c-linkage.co.jp/jsph73/>
 お問い合わせ先：株式会社コンベンションリンケージ内
 〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル
 TEL: 03-3263-8688 / FAX: 03-3263-8693 / E-mail: jsph73@c-linkage.co.jp

〈プログラム(予定)〉

特別講演

- 支えることと支えられること ～専門的職業と人生を生きること～
 柳田 邦男(ノンフィクション作家, 評論家)
 11月5日(水) 11:00～12:10
- 「がんばらない」けど「あきらめない」 一命を支えるということー
 鎌田 實(医師, 作家)
 11月6日(木) 13:30～15:00
- 現場に元気・活気を与えるコミュニケーション術 ～スポーツ現場に学ぶペップトークとは～
 岩崎 由純(トレーナーズスクエア株式会社)
 11月7日(金) 10:00～11:30

鼎談 「連携と協働」

メインシンポジウム 「学校保健, 地域保健, 産業保健の連携」

シンポジウム

- 健康づくりのための睡眠指針2014(睡眠12箇条)
- 認知症対策と保健所とのかかわり
- 災害における公衆衛生的な活動を行う支援体制(DHEAT)の構築にむけて
- がん登録からがん検診・がん対策へーがん登録推進法成立を受けてー
- 健康影響予測評価(health impact assessment)と地域保健:理論と実践
- たばこ規制枠組み条約を踏まえたたばこ規制・対策の推進
- 原子力災害後の食品摂取による放射線曝露への対策と現状
- 栃木県脳卒中啓発プロジェクトの取組 ～脳卒中死亡率の全国ワースト脱却を目指して～
- 活動事例から公衆衛生活動の方法論の可視化 ～公衆衛生看護のあり方委員会からの提案～
- 東日本大震災からの復興 ～中長期視点で求められていることを考える～
- 新たな難病制度における疾病登録の意義(国立保健医療科学院企画シンポジウム)
- 日本人の長寿を支える「健康な食事」で, 健康増進と産業振興の真の協働は可能か
- これ以上の身体活動低下を防ぐための社会環境の整備と改善
- 公衆衛生モニタリング・レポート活動の展望と課題
- 地域基盤型IPE(専門職連携教育)による連携力の育成
- コホート研究と政策提言 一根拠に基づく連携と協働に向けてー
- 特定保健指導において, 専門職の“保健指導力”をいかに高めるか

- 次期健やか親子21を踏まえた母子保健計画の策定について
- がん患者の就労支援 ―医療現場・地域・職域・行政における連携の実際
- セーフティプロモーション(公衆衛生アプローチによる安全・安心づくり) ―理論と実際
- 公衆衛生専門職に必要なマネジメント能力
- これからの建築物衛生管理の問題点と方向
- 多角的視点から見た自殺対策の今後の課題
- 地域保健施策におけるソーシャル・キャピタルを活用した戦略と戦術
- 学校保健と地域社会 ―連携と協働を求めて―
- 連携と協働による継続包括的日本型妊娠・出産・育児の支援と産後ケアを地域で実現する
- 地域におけるコミュニティ・オーガニゼーション ―連携と協働へ
- 公衆衛生における歯科口腔保健の役割を考える ―成人・高齢者を対象として―

教育講演

- 日本人の食事摂取基準(2015年版):活用のための科学と技術
佐々木 敏(東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学分野)
- 働き盛り世代におけるヘルスリテラシーと健康教育
福田 洋(順天堂大学医学部総合診療科)
- プリオン病:わが国の実態と対策の連携
中村 好一(自治医科大学公衆衛生学教室)
- 21世紀的たばこ問題の俯瞰~喫煙から分煙そして無煙へ,新たなタバコ製品登場の意味
望月友美子(国立がん研究センターがん対策情報センターたばこ政策研究部)
- 栃木県における近代予防衛生 ―天然痘と闘った医師たち―
中野 正人(壬生町立歴史民俗資料館)
- わが国一般高齢者の低栄養の現状と課題
新開 省二(地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所)
- 健康づくりのための身体活動基準2013とアクティブガイド
宮地 元彦(独立行政法人国立健康・栄養研究所)
- 第二期特定健診保健指導の新規課題の対応方法
今井 博久(国立保健医療科学院)
- PM2.5による大気汚染の現状と課題
大原 利真(国立環境研究所企画部)
- 地域がん登録 現状と課題 ―栃木県地域がん登録室より―
大木いずみ(栃木県立がんセンター研究所疫学研究室)
- 質的研究法とフォーカスグループインタビュー 当事者エンパワメントとイノベーション
安梅 勅江(筑波大学医学医療系国際発達ケア:エンパワメント科学研究室)
- 人を対象とした医学的研究の倫理指針:2014年改正のポイント
川村 孝(京都大学健康科学センター)
- 科学的実践に向けた公衆衛生研究の展望
橋本 英樹(東京大学大学院公共健康医学専攻保健社会行動学分野)
- 国際保健と権力:協働か非協働か?
神馬 征峰(東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室)

特別報告

- イギリスが学ぶ日本の保健所制度
- 包括的健康評価体系(NHI)設計とその公衆衛生学活動実装に向けての試み

地方衛生研究所研修フォーラム

感染症事例のリスクアセスメント研修会

市民公開講座「認知症の予防・治療・介護」